

親子ふれあいタイム月刊誌

ふれあい通信

発行：就実こども園
就実子育てアカデミー実行委員会〒703-8258 岡山市中区西川原15-1
TEL:(086)206-2120 FAX:(086)206-2110
E-mail:fureai2525@shujitsu.ac.jp
HP: http://kids.shujitsu.ac.jp

2月3日は「節分」、豆まき行事があらこちらで催されます。本園でも2月3日(月)にする予定で、子ども達は、思い思いのかわいい鬼のお面を作っています。

「豆まき」はいつごろからするようになったのかというと室町時代だそうで、平安時代に宮中で節分になると行われていた「追儺(ついな)」と呼ばれる行事(一年間で起きた悪いことを心や体から洗い流し、祓い清める。)が発展して、豆まきをして悪い鬼を追い出す行事が行われるようになり、みんなの間にも広まっていったそうです。

さて、本園の豆まきは、幼稚園児は3歳児と4歳児が交代で豆をまきあって鬼退治をします。保育所児は、保育室で鬼ボウリングや鬼追いかけ玉入れ等をして鬼退治をします。しっかり楽しんだ後は、赤色と青色の衣装をまとい、角を生やした赤鬼と青鬼(保育士が変身)が登場。園児にとっては試練の出会いとなりますが、子ども達みんなが鬼の体にいる悪いものを退治してあげることにしています。園児も鬼もみんな福が来ますように。

※節分とは、季「節」の「分」かれ目で、立春・立夏・立秋・立冬の4回ありますが、冬と春の分かれ目の節分が一般的ですね。

園長 古川 恵子



親子ふれあいタイム : H26年5月の予定

毎週火曜日・木曜日開催

午前10~12時(原則として週1回の参加)

火曜日(同年齢)	水曜日(子育て相談)	木曜日(異年齢)	◆園庭で自由に遊べます。 ◆靴は子育て支援の靴箱にお入れください。 ◆1階で保護者用名札を付けてください。2階で受付をし、親子で名札をつけてから遊んでください。 ◆荷物は荷物置き場に置いてください。貴重品は身につけるようお願いいたします。 ◆平成26年度の親子ふれあいタイムは、5月からです。5月のふれあい通信をご覧ください。
13日 親子ふれあいタイム 0歳児~1歳まで	14日 子育て相談 13~15時受付	15日 親子ふれあいタイム 0歳児~就園前まで	
20日 親子ふれあいタイム 1歳児~2歳児まで	21日 子育て相談 13~15時受付	22日 親子ふれあいタイム 0歳児~就園前まで	
27日 親子ふれあいタイム 2歳児以上	28日 子育て相談 13~15時受付	29日 親子ふれあいタイム 0歳児~就園前まで	
<ul style="list-style-type: none"> ・火曜日・木曜日は支援室で好きなあそびを見つけて過ごします。 ・『子育て講座』の参加予約は、『子育て講座』と入力してください。定員になりしだい終了とさせていただきますのでご了承ください。 			

火曜日の

「親子ふれあいタイム」

<同年齢で遊ぶ>

10時~12時

定員 20名

※毎週予約が必要です。

同じ年齢のお母さん同士で交流しながら一緒に遊びませんか。



水曜日の

「子育て相談」

原則として毎週水曜日

13時~15時に受け付けます

(その他の時間は留守番電話)

発達や健康、しつけや情緒面など、子育ての悩みについて、大学教員などのスタッフが無料で相談に応じます。



木曜日の

「親子ふれあいタイム」

<異年齢遊ぶ>

10時~12時

定員 20名

※毎週予約が必要です。

年齢の異なるお子さんが一緒に遊びます。「子育て講座」にも参加して、お子さんと一緒に学んでみませんか。



ほのぼののコラム

鈴木 薫 (教育心理学科准教授、養護学)

『ほのぼののコラム』は、就実大学 (初等教育学科、教育心理学科) と就実短期大学 (幼児教育学科) の教員が、「子ども」「教育・保育」等をキーワードにした内容で、それぞれの専門性などから自由に執筆いただきます。

学生が抱く母親のイメージ

学生が母親に抱くイメージについて、ある研究を紹介しようと思う。彼らは母親を、優しくいつも明るくて家族から愛され、一番身近で頼れる大人として捉えていた。また、出産・子育てをする本能的な母性をもつ存在であると同時に、仕事と家事を両立し、厳しく指導したり叱ってくれたりする強い指導者としての役割を担うなど父性性をもつ存在とも捉えていた。さらに、子どもの成長や発達の手として子どもを護り支え、成長のモデルや目標となる存在でもあり、かつ仲のよい友達関係でもいることができる自分の一番の理解者であるというイメージとしても捉えていた。母親には、無条件の受容と厳しい指導的役割、自立した存在として社会と子どもをつなぎ、子どもの社会的成長を支援してくれる人であって欲しいという期待が大きい。この結果は、学生たちの母親に対する最大の賛辞である。



親子ふれあいタイムの予約について

火曜日・木曜日の親子ふれあいタイムは、毎週予約が必要となりました。※ふれあい通信でお知らせします。

《例》3月4日(火)の予約は、2月24日(月)にネットをお願いします。

予約した日が欠席の場合は、連絡をお願いします。キャンセル待ちの方に連絡をさせていただきます。

<予約方法>

就実こども園のHPよりQRコードから予約をしていただく。また、fureai2525@shujitsu.ac.jp と入力していただき、パソコンや携帯から予約をお願いします。

「親子ふれあいタイム」火曜日希望、木曜日希望 「子育て講座」希望と予約をされたい日時と曜日

お母さんとお子さんの名前 お子さんの生年月日 電話番号 を入力ください。

※受け付けたメールは当日の2日前までに必ず返信いたします。PCからの通信拒否を設定されている方は返信できませんので、返信のない場合は、電話連絡をお願いいたします。 TEL (086)206-2120 担当 松本



子育て講座「ベビーサイン体験教室」がありました。・・・1月23日(木) 與田 直美先生

1月23日に「ベビーサイン体験」の講座がありました。ベビーサインを毎日親子ですることによって、言葉が話せない赤ちゃんともコミュニケーションを取れるようになり子育てが楽しくなると教えていただきました。また、「ベビーサイン」と「仕草」の違いも「イエス・ノーゲーム」をしながら楽しく学ぶことができました。参加された方々の感想をご紹介します。(松)

- ・以前から興味を持っていた「ベビーサイン」の講座に参加できて、とても嬉しかった。
- ・子どもとコミュニケーションがとれたら、毎日の生活が楽しくなると思った。
- ・ベビーサインによって自分の意志が伝わるとストレスがなく、話ができるようになった時に自分の思いを素直に言えるようになると思う。
- ・「ベビーサイン」を覚えて、かわいいサインをしてくれるようになるのが、楽しみになりました。
- ・知っている「ベビーサイン」をしているが、なかなかサインをしてくれないのであきらめていたが、先生の話聞いて引き続き頑張ろうと思いました。
- ・「ベビーサイン」で卒乳も無理なくできることを教えていただき、とても参考になりました。
- ・毎日の生活の中に、一つサインをつけることで子どもとコミュニケーションをとれるなら、嬉しいです。
- ・「ベビーサイン」を子どもができなくても、子どもとのコミュニケーションをとる一つとして「ベビーサイン」をやってみたいと思います。
- ・今日教えていただいた「ベビーサイン」を繰り返していきたいと思います。